

関西生コン労組支援 10・14東京集会

曳舟文化センター
13時開始

【講演】 木下武男さん 「関西生コン支部の運動と弾圧の背景」

【訴え】 関西地区生コン支部・西山直洋執行委員

武内更一弁護士 「関西生コン支部弾圧と改憲攻撃」



あらゆる場所で弾圧の実態を訴えて支援要請を

首都圏で関西生コン労組支援の大運動を作ろう

11月3日、弾圧粉碎の集会・デモを成功させよう

10月14日午後1時から曳舟文化センターで「関西生コン労組への弾圧を許さない10・14集会」が開催されます。大団全共が訴えます。

一連の弾圧は、当たり前の組合活動を「犯罪」とみなして関西生コン労組をつぶし、労働運動の禁圧を狙うものです。組合員が働く職場では仕事外しや不当解雇が相次いでいます。

この弾圧は、

関西生コン労組の壊滅を狙う攻撃であると同時に、憲法28条の労働基本権（3権）の破壊を狙うものであり、まさしく改憲と戦争の大攻撃です。

関西生コン労組は現場からの反撃を開始しています。そして全国の労組や諸団体が抗議の声を上げ、各地で関西生コン労組支援の取り組みが始まっています。

関西生コン労組は、11月労働者集会を共に呼びかけてきた仲間です。関西生コン労組の解体を狙

う攻撃を断じて認めるわけにはいきません。すべてをかけた弾圧粉碎へ共に闘おう。

集会では、若者の非正規問題や格差問題を取り上げ『若者の逆襲・ワーキングプアからユニオンへ』などの著書を出している昭和女子大学名誉教授の木下武男さんが「関西生コン支部の運動と弾圧の背景」と題して講演を行います。

関西生コン支部からは西山直洋執行委員が報告します。憲法と人権の日弁連をめざす会代表の武内更一弁護士が「関西生コン支部弾圧と改憲攻撃」を話します。

労組関係のみならず、あらゆる場所で弾圧の実態を訴えて支援を要請しよう。各地で職場で支援の取り組みをはじめよう。10・14東京集会を成功させ、11月3日、東京・日比谷野音に大結集し、弾圧粉碎の大デモを実現しよう。